

令和7年度第1回松本医療圏 地域医療構想調整会議	資料 1
令和7年8月25日	

【協議事項】

長野県立こども病院における地域医療病院の承認の継続について

1 地域医療支援病院の概要

(1) 趣旨

医療は患者の身近な地域で提供されることが望ましいという観点から、かかりつけ医、かかりつけ歯科医を地域における第一線の医療機関として位置づけるとともに、ほかの医療機関との役割分担と連携を進めるため、平成9年の医療法改正により、地域医療支援病院制度が設けられた（都道府県知事が個別に承認）。

この制度により承認された病院は、かかりつけ医からの紹介患者に対する医療提供、病院の医療機器等の共同利用を通じてかかりつけ医を支援し、2次医療圏単位で地域医療の充実を図ることが求められる。

(2) 主な機能

- ① 紹介患者への医療提供と施設・設備の共同利用
- ② 救急医療の提供
- ③ 地域の医療従事者への研修

2 地域医療支援病院の承認について

(1) 主な承認要件

- ① 原則として200床以上の患者の収容施設を有すること。ただし、県知事が、地域における医療の確保のために必要であると認めたときは、この限りでない。
- ② 次の施設を有し、かつ記録を備えておくこと。
集中治療室、化学等の検査施設、病理解剖室、研究室、講義室、図書室、救急用又は患者輸送用自動車及び医薬品情報管理室等。
- ③ 原則として紹介患者に対する医療提供を実施すること。
- ④ 建物、設備等の共同利用についての体制が整備されていること。
- ⑤ 救急医療を提供する能力を有すること
(例：前年度の救急自動車により搬送された患者の数1,000人以上)。
- ⑥ 地域の医療従事者の資質の向上のための研修を行わせる能力を有すること
(例：前年度、年間12回以上の研修を主催していること)。

(2) 本県の承認状況

令和7年8月13日現在 12病院

長野県立こども病院の要件における適合状況

1 申請者

地方独立行政法人長野県立病院機構 理事長 本田 孝行

2 対象となる病院の概要

病院名	長野県立こども病院
所在地	安曇野市豊科 3100
開設者	地方独立行政法人長野県立病院機構
管理者	稻葉 雄二
病床数	一般病床 200 床
診療科目	小児科、神経小児科、循環器小児科、小児外科、心臓血管外科、整形外科、脳神経外科、放射線科、麻酔科、眼科、耳鼻いんこう科、皮膚科、リハビリテーション科、形成外科、産科、婦人科、精神科、泌尿器科、アレルギー科 (19 科)
地域医療支援病院承認日	平成 30 年 2 月 13 日

3 地域医療支援病院の承認要件の充足状況

原則として病床 200 床以上有すること	理由つき適
地域医療支援病院として必要な施設設備の状況	適
紹介患者に対する医療提供	適
施設設備の共同利用体制	適
救急医療の提供能力	適
地域の医療従事者に対する研修の実施	適

4 地域医療支援病院の継続承認の理由

- 県立長野こども病院は今年度中に病床削減を行い、200 床から 193 床に病床数が減床する予定。
- 法令上の承認要件としては、原則 200 床以上の患者を収容する施設であることが要件とされているが、地域医療の確保のために必要であれば 200 床未満の施設も認められているところ。
- 今回の削減は、休床となっている一般病床の削減であり、当該病院が有している機能自体は従前と変更がなく、引き続き地域医療の確保のために必要性が認められる。また、その他承認要件についても、承認時と変更がないことを踏まえ、地域医療支援病院の指定を継続することとしたい

参考：地域医療支援病院の承認要件の充足状況

① 病床数 200 床以上

	削減前(2025. 7. 1 時点)	削減後	増減
一般病床	200 床(うち休床 37 床)	193 床(うち休床 30 床)	△7 床
計	200 床	193 床	△7 床

[病床稼働率]

病床稼働率 78.1% …2025. 6

※ 延べ患者数：3,821 ÷ (稼働病床数：163 × 30 日)

[病床削減の目的]

当院では、近年高まる付き添い入院への環境的な要望に対応するため、病棟の病床数を一部見直し、1 病床あたりの面積を拡大する計画を進めています。これにより、保護者の付き添いや休息に必要なスペースを確保し、ご家族とお子さまがより快適で安心できる療養環境の提供を目指します。

なお、稼働をしていない病床を削減するため、現状の入院体制には影響はなく、また、一般病床を削減するため、高度な医療提供は維持していきます。

[病床削減スケジュール]

令和 7 年度末、第 2 病棟改修工事終了予定

② 地域医療支援病院として必要な施設設備の状況

必要な施設設備	主な設備
集中治療室	<p>【PICU】 8 床</p> <ul style="list-style-type: none"> ・救急蘇生装置（喉頭鏡ハンドル 4 個 ブレード 12 個、エアウエイスコープ (AWS) 1 個） ・除細動器（日本光電工業製 除細動器 TEC-5631 1 台） ・ペースメーカー (BIOTRONIK 2 台、MEDTRONIC 1 台 OSYPKA 2 台) ・心電計（日本光電 ECG1450 1 台） ・ポータブルエックス線撮影装置 (SHIMAZU MobileArt Evolution 1 台) ・呼吸循環監視装置 (PHILIPS IntelliVue Mp70 7 台、IntelliVue MX700 5 台、セントラルモニター 1 台) ・体外補助循環装置（泉工医科工業 UNIMO 2 台） ・急性血液浄化療法に必要な装置（旭化成メディカル ACH-Z プラス 2 台） ・自家発電装置（明電舎製 EK-AF 1000KVA 1 基） ・電解質定量検査装置 (RADIOMETER (OPENHAGEN) 1 台) ・血液ガス分析装置 (RADIOMETER (OPENHAGEN) 1 台) <p>【MFICU】 6 床</p> <ul style="list-style-type: none"> ・救急蘇生装置（ペンロン製喉頭鏡セット（新生児用 1 台、成人用 1 台）、MAC 成人用 1 台） ・除細動器（日本光電工業製 除細動器 TEC-7531 1 台） ・心電計（日本光電工業製 心電計 ECG-9522 1 台） ・呼吸循環監視装置（フィリップス社製 MP5 6 台、MP50 1 台、MP30 1 台） ・経皮的酸素分圧監視装置又は経皮的動脈血酸素飽和度測定装置（セントラルモニター 1 台） ・微量輸液装置（テルモ シリンジポンプ TE3110N 2 台）

		<ul style="list-style-type: none"> 分娩監視装置（アトム ネットワークシステム 一式） 超音波診断装置（volson s8 1台、volson S10 1台） 心電図モニター装置（セントラルモニター 1台） 自家発電装置（明電舎製 EK-AF 1000KVA 1基） <p>【NICU】</p> <p>24床</p> <ul style="list-style-type: none"> 救急蘇生装置（アンビューバック 挿管セット MPIT ピース 50 セット、エアウェイスコープ1台） 除細動器（日本光電工業製 ポータブルデフィブリレータ CARDI LIFE TEC-7521 1台） 心電図（日本光電製 cardiofaxv 1台） ポータブルエックス線撮影装置（SHIMADZV MobileArt Evolution 1台） 呼吸循環監視装置（フィリップス社製 IntelliVue MP70 20 台、IntelliVue MP50 3 台、日本光電工業製 BSM4103 8 台） 人工呼吸装置（東機質 e360 ~24 台、フクダ電子 サーボ U 3 台） 新生児用人工喚起装置（メトラン製 カリオペ 2 台、東機質 SLE1000 7 台、フィッシャーアンドパイケル製 ネーベルハイフロー 14 台、ドレーベル ベビーログ VN500 4 台、Servou 3 台、SiPAP 4 台、Humming Vue 2 台） 経皮的酸素分圧監視装置又は経皮的動脈血酸素飽和度測定装置（住友電工 ハイテックス PO-850A 以下 2 台） 酸素濃度測定装置（ネルコア 7 台、マシモ 1 台） 光線療法器（アトム製 ブルーライト 4 台、LED ベッド 1 台、LED ライト 6 台、LED ミニライト 8 台、ビリブランケット 1 台） 微量輸液装置（テルモ製 TE-351 25 台、TE-331S 10 台、TE-161S 10 台） 超音波診断装置（PHILIPS CX-50 2 台、Canon Xario 100G 1 台） 自家発電装置（明電舎製 EK-AF 1000KVA 1 基） 電解質定量検査装置（シノテスト社製 RS-232C） 血液ガス分析装置（扶桑薬品工業製 アイスタート 1 台、ラジオメーター ABL800 1 台）
化学検査室	有	<ul style="list-style-type: none"> 生化学自動分析装置（TBA-nx360） 免疫測定装置（cobas e 411） UB アナライザー ・オズモメーター 生化学・免疫測定装置（Alinity i）
細菌検査室	有	<ul style="list-style-type: none"> 全自動細菌検査システム（Walk Away 40 plus） 全自動血液培養検査装置（BACTEC FX） 顕微鏡 ・ふ卵器 ・炭酸ガス培養装置 安全キャビネット
病理検査室	有	<ul style="list-style-type: none"> 密閉式自動固定包埋装置（ASP6025） 包埋ブロック作製装置（HistCore Arcadia C） 凍結ミクロトルトーム（LEICA CM 1950） 顕微鏡 ・顕微鏡用デジタルカメラ ・モニター
病理解剖室	有	<ul style="list-style-type: none"> 遺体安置冷蔵庫（M-1 特型） 解剖室（KA-DB） マクロ撮影台（UPR-3B） ・カメラ 自動式高圧蒸気滅菌器（ASV-3022）
研究室	有	<ul style="list-style-type: none"> 次世代シーケンサー（Ion PGM System） キャビラリーシーケンサー（SeqStudio） マイクロアレイ解析装置（GeneChipR Scanner 3000 7G System） 遺伝子增幅装置（ABI 2720、ABI MiniAmp Tharmal Cycler、BIO-RAD T100） リアルタイム PCR 装置（StepOnePlus、Clontech、

		QuantStudio5) ・微量核酸定量装置 (NanoDrop 2000c) ・全自动核酸抽出装置 (magLEAD12gC)
講義室	有	5室 (収容定員 220人)
図書室	有	1室 (蔵書 1,380冊程度)
救急用又は患者搬送用自動車	有	保有台数2台
医薬品情報管理室	有	専用室 (床面積 27.5m ²)

③ 紹介患者に対する医療提供

「イ）紹介率が65%以上かつ逆紹介率が40%以上」に該当

地域医療支援病院紹介率 (AをBで除した数に100を乗じた数)	77.1%	算定期間	令和5年4月1日 ～ 令和6年3月31日
地域医療支援病院逆紹介率 (CをBで除した数に100を乗じた数)	99.9%		
算出根拠	A：紹介患者の数		2,461人
	B：初診患者の数		3,192人
	C：逆紹介患者の数		3,188人

④ 施設設備の共同利用体制

ア 共同利用施設・設備及び専用の病床を設ける

- ・常時共同利用が可能な病床数 5床
- ・検査機器 (CT・MRI・RI・リニアック)

令和5年度の実績 (すべて直接関係のない医療機関)

・RI検査 50件)
・リニアック検査 73件	

イ 医療機関の登録制度を設ける

登録状況・・・医科 120機関

(同一の医療圏に所在する医療機関のみ)

ウ 共同利用に関わる規定が病院の運営規定等に明示されている

「長野県立こども病院 共同利用運営規定」に基づき、実施。

⑤ 救急医療の提供能力

ア 救急医療の提供の実績が原則1,000人以上必要

救急用又は患者輸送自動車により搬入した救急患者の数 697人 (令和5年度)

イ 重症救急患者の受け入れに対応できる医療従事者の確保

職種	従事者数	備考
医師	103人	(うち11名は専従)

看護師	85人	(うち85名は専従)
助産師	10人	(うち10名は専従)
臨床検査技師	19人	
診療放射線技師	10人	
薬剤師	18人	
臨床工学士	7人	

ウ 重症救急患者のための病床の確保

優先的に使用できる病床 3床

エ 重症救急患者に必要な検査、治療を行うために24時間使用可能な診療施設が必要

小児特定集中治療室(PICU)、母体胎児集中治療室(MFICU)、新生児集中治療室(NICU)、自動分析室、細菌検査室、CT室、MRI室、撮影室1・2、X線TV室、手術室(血管撮影室)

オ その他(参考)

長野県告示第549号

救急病院等を定める省令(昭和39年厚生省令第8号)第1条の規定により認定

⑥ 地域の医療従事者に対する研修の実施

ア 研修体制の整備

施設設備・・・有

指導者及び教育責任者の配置・・・有(指導者48名(うち教育責任者1名))

研修プログラムを作成・・・有

研修委員会の設置・・・有(「研修管理委員会」により設置)

イ 年間12回以上の地域の医療従事者向け等の研修を主催

令和5年度は44回開催、研修者数延べ1,494人